



京都ハンナリーズ



加入3シーズン目となり、日に日に存在感が増している副キャプテンの久保田義章選手にインタビュー！

■自己紹介

出身は福岡県北九州市です。地元の戸畑ミニバスケットボールでバスケットをはじめました。折尾愛真高、九州共立大では最終年にキャプテンを務めています。京都ハンナリーズには、特別指定選手として2019-20シーズンの途中に加入し、大学卒業後に入団しました。自分の長所は強気なプレーです。自分と同じPGのポジションの選手には負けたくないと思っています。また、今はスリーポイントの成功率を上げるためにシュート練習に力を注いでいます。(3月25日時点で成功率30.4%。リーグトップの選手はおよそ45%程度の成功率を誇る)

■今シーズンの自身のプレーについて

3シーズン目となる今シーズンは、徐々にプレーに積極性が出てきて得点も取れるようになり、調子が安定してきました。今後はもっとリーダーシップの面で積極性を出していくことが課題だと思っています。今年のハンナリーズは一言でいうと“Family”といった感じで、ベテランと若手のバランスが良く、年齢関係なく言い合える良い雰囲気です。

■試合観戦のポイント

B.LEAGUEは激しい攻守の切り替えが見どころで、選手と会場が一体となって盛り上がる瞬間を楽しんでもらいたいです。また、ホームの京都市体育館は、試合前にビジョンに映るカッコいい演出や盛りだくさんのフードなどがオススメです。ぜひ会場に足を運んで浅葱色一色に埋め尽くしましょう！GOハンナリーズ！

■質問リレーコーナー

《満田選手から久保田選手への質問》

- Q1：副キャプテンとして意識して取り組んでいることは？
 A1：声を出して盛り上げてチームを鼓舞することを意識しています！
- Q2：バスケット以外で自分が得意なことは？
 A2：球技全般的に得意です！
- Q3：入学・卒業での思い出深いエピソードを教えてください！
 A3：高校の卒業式前日にバスケットをして怪我をしまい、当日の式に松葉杖で出席したこと！

■京都ハンナリーズとは

プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」所属のプロバスケットボールクラブ。ホームアリーナは京都市体育館（西京極総合運動公園内）。チームカラーは浅葱色。マスコットは猫のはんニャリン。

■直近の試合日程

チケットはB.LEAGUE チケットにて販売中。
 4月20日(水) vs サンロッカーズ渋谷
 4月23日(土) vs 富山グラウジーズ
 4月24日(日) vs 富山グラウジーズ
 5月7日(土) vs 島根スサノオマジック
 5月8日(日) vs 島根スサノオマジック
 会場：京都市体育館



■プロフィール

- ・氏名：久保田義章
- ・出身校：九州共立大卒
- ・出身地：福岡県
- ・生年月日：1997年10月5日生
- ・ポジション：ポイントガード



久保田義章

#11



京都ハンナリーズ
チームキャラクター
【はんニャリン】

地域密着で世代を超えて愛される薬局に



株式会社ゆうホールディングス

取締役 船戸 一晴 さん



所在地 / 〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町106
<https://www.uno-upd.co.jp/>

京都府内を中心に展開する「ゆう薬局」は、地域に密着した事業展開で京都の方々に広く愛されている薬局だ。創業は1950年。まだ処方箋調剤が浸透していない時代に小さな薬局店としてスタートしたが、今では店舗数府内No.1の95店舗と滋賀県に2店舗を展開している。

一薬局が地域の為にできること

なかでも特徴的なのが、地域とのつながりを大切にした経営だ。薬局店として地域住民の相談窓口の様な役割も担うゆう薬局は、行政区ごとにブロック分けし、各ブロック内での交流を目的に独自の様々な取り組みを行っている。

例えば西京乙訓ブロックでは、シンガーソングライターもしている薬剤師が中心となり「うたごえサロン」というイベントを企画。高齢者が多く参加したこのイベントは、往年の流行曲などをうたって楽しむだけではなく、薬剤師に地域の方が気軽に相談できる関係性づくりや体調や様子をうかがう機会となったという。

こうした活動は創業者が大切にしてきた指針がもとになっていると広報部長の船戸さんは語る。「薬を処方する患者さんへお渡しする薬局としての社会的責任を創業者が感じていたからこそ、創業以来地域とのコミュニケーションを大切にしています」。薬剤師出身のである創業者の「地域の人々の健康を支えたい」という想いの伝わるこういった活動が、地域の方々に愛されている所以だろう。



おくすり手帳

船戸さんと一緒に思い出してください

年 月 日

お名前

No. さま

一スポーツを通じた地域との取り組み

そんなゆう薬局は京都ハンナリーズを通じても様々な活動を行っている。コラボお薬手帳をはじめ選手へのアンチドーピング講習やドーピングにならない薬の提案など薬局という業種を活かした活動はその一つで、特にスポーツファーマシスト(アスリートにドーピングなどの正しい知識の指導や啓もうを行う薬剤師)によるドーピング指導は、他のクラブではまだそれほど行われていない新しい取り組みだ。

また、スクール事業への協賛も行っており、バスケスクールでは練習用のリバーシブルピブスを、チアスクールではTシャツを配布するなど、地域の子供たちがスポーツを楽しむ環境づくりに貢献している。今後は、薬学部 학생にに向けて講習と試合観戦がセットになったインターンシップ企画なども計画中で、ゆう薬局と京都ハンナリーズという京都に根差した両者の活動は今後も注目だ。



お届けしたのは…